



東日本大震災～あれから1年～

被災地、その時と今 | 写真特集 | 特集・ビジュアル解説 | 動画

福島原発事故は「人災」＝官邸介入で被害拡大－報告書

東京電力福島第1原発事故を検証してきた国会の事故調査委員会（委員長会議会長）は5日、「事故の根源的要因は『人災』で、政府、規制当局、東京電力が守るという責任感が次如していた」とする報告書を公表した。

報告書は約640ページ。事故の背景として、「これまで何度も対策を打つ機会があり、歴代の規制当局と東電経営陣が先送りしてきた」とした上で、「今回の事故は明らかに『人災』だと断定した。

また、事故直後の対応について、経済産業省原子力安全・保安院の機能不足に不信を募らせた首相官邸が、現場に過剰に介入したと指摘。「重要な時間帯で、指揮命令系統の混乱を拡大した」と批判し、「事故の進展を止められず、被災した最大の要因」と述べた。（2012/07/05-14:38）